

## みんなで決めて、みんなで避難

避難を呼びかける情報があったとしても、個人では避難をためらってしまいがちです。地域で逃げる仕組みを考えておくことで、避難の決断がしやすくなります。

### 日頃から…

避難先や  
避難のきっかけを  
みんなで決めておく



### その時がきたら…

みんなで  
逃げよう！



### 例えば…

声をかけあって  
みんなで早めの避難



## みんなで手を取り合い 助け合うことが大切です

隣近所の人や地域の人と声をかけあえる関係づくりのためにも、町会・自治会の活動に積極的に参加しましょう。

## 地域の取り組み ~ 岡崎市寿町自主防災会の事例 ~

岡崎市寿町の自主防災会では、台風被害が見込まれる場合、台風最接近の前に高齢の一人暮らしなどのいわゆる災害時避難行動要支援者のかたに対して、台風接近の注意喚起を兼ねた「見守り巡回」を行い、地域で減災に取り組んでいます。

見守り巡回では、自主防災会の「防災委員」が担当の住宅を訪れ、台風接近時における注意書き（懐中電灯を枕元に置いておく、雨戸は閉めておく、ラジオを用意しておく等）を記載したチラシを配り、場合によっては庭先の植木鉢など、屋外に置いてある物の固定や移動を手伝います。また、チラシには緊急時相談連絡先として、防災委員の携帯番号が掲載され、要支援者の安心感もサポートしています。

その他、日ごろの見守り活動を行っている「見守り役」のかたも見守り巡回に立ち合い、要支援者と顔の見える関係を築いています。





## いざというとき 頼りになるのは地域のちから

多くの人々は、災害対応の責任の多くが行政にあると考え、また期待もしています。しかし、実際の災害は多くの場合、行政にとっても想定外の外力で発生しています。想定外の力で私たちを襲う自然災害に対して、私たちの暮らしの全てを守りきることは不可能です。とはいえ、行政は災害への対応（＝公助）を投げ出しているわけではありません。不測の事態に備え、岡崎市としてできる限りの体制を整えています。

そして、市民の皆さまには、行政の対応だけでは守りきれない事態において、自分の身は自分で守る「自助」以外にないことを、あらためてご理解いただきたいのです。

加えて、自らの対応が充分に行えない災害時避難行動要支援者には、地域コミュニティ（＝共助）をもって対応していただくことも重要です。

過去の災害をみても、いざというとき頼りになるのは地域のちからです。災害時、地域の共助による要援護者の安否確認や避難誘導・支援等にご協力をお願いします。



あなたの助けを必要としている人がいます